

尾白川下流域アイス報告書

記録：田中

メンバー：木村 OB、松田 OB、田中 II

山 域：南アルプス

日 程：2/6 刃渡り沢

2/7 岩間ルンゼ

京都前夜発、高速道路は除雪車のおかげでかなり流れは遅い。

6日 曇り

2時ごろ道の駅「はくしゅう」に到着。

6時半に道の駅で起床する。

8時半に林道のゲートから車を降りて歩きだす。前夜発睡眠不足の中、刃渡り沢に行くことにする。林道終点から尾白川への下りは結構急だが、ご丁寧にフィックスロープが整備されている。尾白川の徒渉はなんなくできたが、刃渡り沢内ですこし水没する。

F1の2ピッチは田中のリード。2ピッチともなめ滝で簡単であるが、2ピッチ目の氷が薄く少し怖い。

先行パーティーが2、3組ほどいた。松田 OBはフリーで抜ける。

F1の上の双翼の滝右岸側を松田 OBがリードするも滝の抜け口で手と足が近すぎて、アックスがすっぽ抜けてフォールする。8mくらい落ちただろうか。結構なフォールだったので、モチベーションも下がり、滝は右岸側を巻き、懸垂して支点を回収して、帰ることにする。17時にゲートにつく。この日も道の駅で寝る。

7日 曇りのち晴れ

昨日より早く出発する。

7時過ぎにゲート着。

30分ほどで岩間ルンゼ出合につく。氷が昨日よりテラテラとひかっている。かなり溶けているようだ。この日は松田 OBに全部リードしていただく。氷は薄い、傾斜はあまりきつくない。トポ上で5ピッチ目あたりから氷が少なくなり、撤退することにする。他のパーティーは同ルート懸垂で下降していたが、落石が怖く、またロープが引っ掛かりそうなので、右岸の尾根に乗り、そこから懸垂して帰る。

14時ごろにゲート着。

温泉に入って飯を食った後、木村 OBと田中は京都に帰る。

松田 OBは谷川に向かった。

岩間ルンゼ2ピッチ目

